

国語科学習指導案

岸和田市立城東小学校
指導者 鈴木 洸 多
日時 令和7年 11 月6日(木)
第 5 時限 (13:40～14:25)
学年・学級 5年1組 (17人)

1. 単元名

『どう考える?もしもの技術』

2. 単元の目標

反対意見を予想しながら、説得力のある意見文を書くことができる。

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
思考にかかわる語句の量を増やし、話や文章の中で使っている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。情報と情報との関係づけの仕方を理解し使っている。	「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	進んで反対意見を予想し、学習の見通しを持って、考えたことや伝えたいことを書こうとしている。

4. 教材の取り扱い(主題設定の理由)

教材観

本教材では、「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き方を工夫すること」を重点指導事項としてあげている。児童はこれまで、理由を考えながら意見文を書くことを身に着けている。本単元では、ドラえもののひみつ道具を例に、科学技術の必要性について意見文を書く活動を行う。架空の科学技術について必要か、必要でないかを吟味するにあたり、自分の立場を決め、反対意見を予想する。さらに予想される反対意見への対応を練ることで、自分の考えや理由をより強固にする。こうして身につけた力は、問題解決的、合意形成な議論をする際に役に立つことだろう。

児童観

本学級は、自分の意見を持つことができる児童が多い。しかしそれを文章にしたり、根拠を示して説明したりすることが苦手である。考えの異なる相手に、物事の本質を捉え、正しい言葉で、順序立てて、説得することは難しい。本単元を通して、自分とは異なるものの見方や考え方に正しく触れ、インターネットからだけではなく、他者の意見からも情報収集し、そこからどう相手を説得すればいいか考える機会にしたい。

指導観

指導にあたっては、「協働的な学び」と「個別最適な学び」を同時に進めるために、ロイロノートの共有ノートを生かして、異なる考えが組み合わさり、よりよい学びを生み出すことを目指す。自分とは異なる意見を考えるために、ときには直接対話をして、考えを広げる。児童によっては、直接話すよりも、チャット形式で話をするの方が得意な児童もいる。そのため Padlet を使用する。単元における学習の流れを示し、児童の学びを共有ノート上で完結させる。本時の目標、活動、振り返りまでを単元の時数を意識しながら、自分のペースで進める。A(全員が到達したい目標)に達した児童については、身の回りの事象を持ち出し、事実を根拠に文章が書けるように、情報収集の留意点も示していく。

5.指導計画(全5時間)

第1時 単元の学習の見通しを持つ。学習の手引きと向き合う。

第2時 自分の立場を決め自分の考えを持つ。

第3時 自分の意見を整理する。(事実と考えに分ける)

第4時 自分の意見に対する反対意見と、その対応をまとめる。

(本時)

第5時 意見文として文章にまとめる。

第6時 他の人の文章を読み合う。ディベートをする または ドラえもんの道具だけでなく、日本や世界で起きている様々な諸問題について、学んだ学習過程を自分で生かし、考えていくようにする。

6. 本時の展開

(1) 本時の目標

「自分の意見に対する反対意見を考えその対応を考えよう」

(2) 本時の評価規準

「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考え伝わるように書き表し方を工夫している。(◎B(1)ウ)

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況(S)	おおむね満足できる状況(A)	努力を要する児童への支援
例に挙げられた日本の諸問題における論述について、自分の意見を考え、正しい言葉で書き記すことができる。	クラスの子の意見の反対意見を予想しながら、説得力のある意見文を書くことができる。	・違う立場の意見を共有ノートと一緒に読む ・同じ立場で似た意見の子と一緒に探す ・周りの子と会話を促す

(4) 本時の学習の手引き

めあて： 自分の意見に対する反対意見を考え、その対応意見を考えよう

S： 自分の意見を考えに根拠や事実を組み込んで書くことができる。

A： 反対意見を予想しながら、それに対する自分の意見を書くことができる。

問題発見： 自分の意見に対する反対意見ってどんなものがあるかな？またそれにどんな意見で対応する？

情報収集： 教科書・インターネット(事実として使える情報を集めよう)

整理分析： 広げる(同じ立場の意見)、比較(違う立場の意見)

表現発信： 自分の考えをロイロノート(共有ノート)にストックする。⇒文章にまとめる

ふりかえり(スプレッドシート)

(5) 本時の学習過程

	S	A	B
導入 (全体) 5分	○本時の学習課題を確認する。 ○学習の手引きを確認する。 ○本時の目標を確認する。 } いつでも確認できるように黒板、共有ノート上に残す。		
展開 (フリー)	① 自分の立場（心のスピーカーは必要か、必要でないか）を明確にしたうえで、自分の意見を確認する。 ② 自分とは違う立場より出される反対意見を予想する ③ その反対意見に対する対応を考える		
	○より相手を納得させられるよう、根拠となる事実をその意見を組み込む。（資料や、事実を盛り込む。事実と自分の考えを分けて考える。） ○必要に応じて、周りの子に直接話をし、考えや意見を聞く ○反対意見に対する反対意見をも予想し、その対応を考える		○違う立場の意見を共有ノートと一緒に読む ○同じ立場で似た意見の子と一緒に探し、その対応を真似する。 ☆周りの子との会話を促す
	意見がまとまった人は文章にまとめ始める。		
振り返り (個人) 5分	第4時の欄に本時の振り返りを書く ・〇〇さんは、自分が思っていなかったことを考えていた。 ・〇〇さんの、～という意見を知り、その対応を考えた。 ・自分の～という反対意見の資料が見つからなかったため、次回探したい。		

7. 板書計画

パフォーマンス課題『自分の意見に対する反対意見を考え、その対応意見を考えよう』 S: 自分の意見を考えに根拠や事実を組み込んで書くことができる。 →「それって、あなたの感想ですよね?」に反論する。 A: 反対意見を予想しながら、それに対する自分の意見を書くことができる。 問題発見: 自分の意見に対する反対意見ってどんなものがあるかな? またそれにどんな意見で対応する? 情報収集: 教科書・インターネット(事実として使える情報を集めよう) 整理分析: 広げる(同じ立場の意見)、比較(違う立場の意見) 表現発信: 自分の考えをロイロノートにストックする。⇒文章にまとめる
